

大塚地区
かわら版
第3号

大塚地区
まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

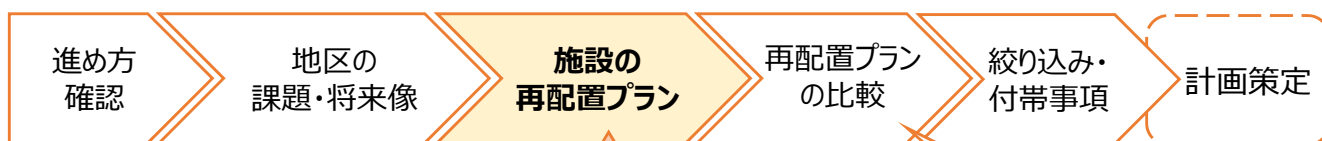
蒲郡市では、今後進む人口減少・少子高齢化による社会情勢の変化を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで、地区内の公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来のあり方について皆さまに考えていただく機会として「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。今回は11月28日（日）に開催した第3回ワークショップの様子をお伝えします。

ワークショップで話し合われている内容等について地域の皆さまからのご意見を募集しています。いただいたご意見は、ワークショップ参加者の皆さまと共有し、検討を進めていきます。（裏面の「ご意見募集」をご覧ください。）

検討の進め方

蒲郡市は、このワークショップでのご意見をはじめ、地区の皆さまのご意見を踏まえて、大塚地区の将来の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」の検討を進めています。第3回ワークショップでは、施設の再配置プランについて意見交換を行いました。



11/28開催
第3回ワークショップ

4つの再配置プラン案について、期待できることや不安なこと、さらに良くするにはどうしたらよいのか等グループに分かれて意見交換を行いました。



次回のワークショップでは、各プランを評価・比較するための指標について検討する予定です。



再配置プラン案の作成にあたって

今回のワークショップでは、皆さまのご意見を整理し作成した「地区の課題の解決策」と、学校・公民館・保育園の今後の方針であるランドデザイン等をもとに作成した4つの再配置プランについて意見交換を行いました。

すべての課題を満実に解決する案を作成することは困難ですが、複数のプランを比較しながら、より多くの課題を解決するプランはどいったものか検討することが必要です。

〈7つの視点と地区の課題の解決策〉

視点	地区の課題の解決策
① 多様な人々との交流	① 多様な方々の交流の場の創出 ② 施設の複合化
② 子育てしやすい環境づくり	③ 保育機能の充実 ④ 子育て関連施設の集合
③ 子ども達の居場所づくり	⑤ 子どもの居場所の確保
④ 生涯現役でいられる地域づくり	⑥ 高齢者が活躍できる場所の整備
⑤ 安全・安心	⑦ 避難所・避難場所の適正配置 ⑧ 交通安全に配慮した施設配置
⑥ 利便性の確保	⑨ 十分な駐車スペースの確保 ⑩ 誰もが利用しやすい施設配置
⑦ 効率的な施設配置	⑪ 施設総量の縮減

〈ランドデザイン等における考え方〉 ※ 詳しくはかわら版第2号をご確認ください。

学 校：児童生徒数が少なく、将来クラス替えができない学年が発生する（小学校については全学年）見込みのため、「小中一貫教育」の導入を行い、異なる学年の繋がりでも多様性を育む新たな教育環境を整備。

公民館：生活圏がまとまっており近隣公民館との距離もあるため、地区内で1館が相当。建替えにあたっては小学校との複合化を検討し、複合化しない場合には校内に公民館活動・地域活動と連携できる場の設置を検討。

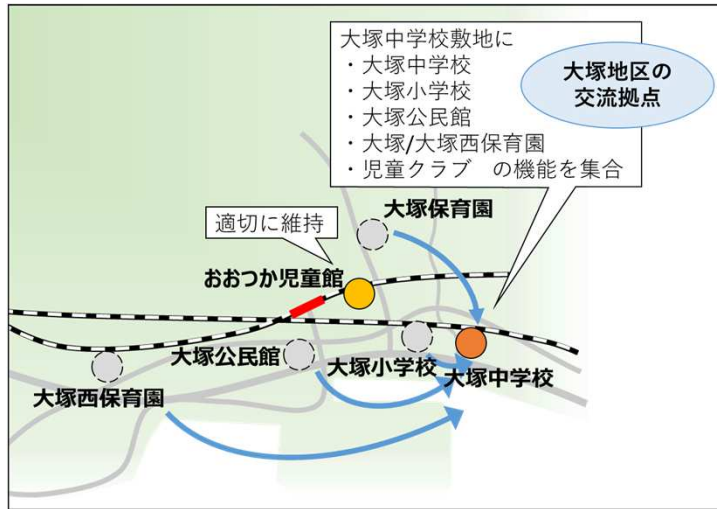
保育園：建替えのタイミングで2園を統合。建替え時に低年齢児保育・延長保育に対応できる規模・設備を整備。

再配置プラン案についていただいたご意見

4つの再配置プラン案について、期待されること、懸念されること等のご意見をいただきました。なお、実際の施設整備は施設の老朽化具合や他地区等の計画を踏まえ、段階的に行っていくこととなります。

【○：期待すること ●：懸念 ・：その他】

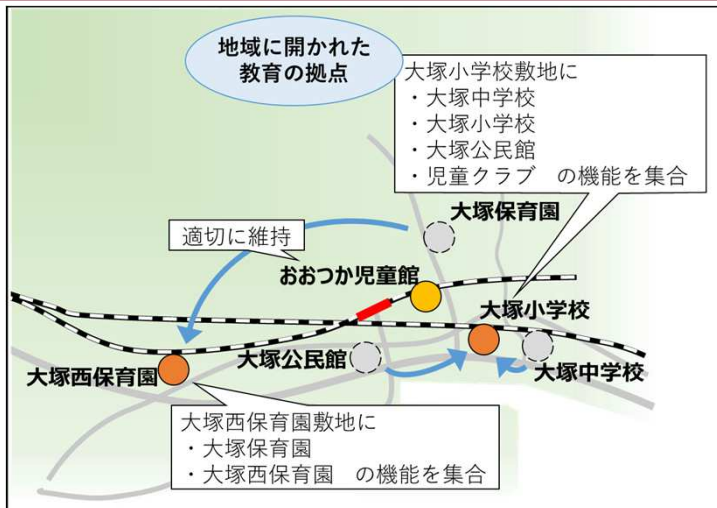
A 多世代交流の拠点をつくるプラン



- 多世代が集まることでお互いの理解が深まり、交流が生まれる場所になるのは良いことだと思う。
- 公民館と学校の集約により、多世代交流ができる。子どもが大人の活動を近くで感じられるのはメリット。(B・D案共通)
- 保育園と児童クラブが同じ場所にあり、保護者の送り迎えが一度で済む。(C案共通)
- 地区東端の中学校敷地に集約すると、地区のバランスが悪く、不便な人が生じる。
- 駐車場や施設の機能を果たすための十分な敷地があるのかが心配だ。
- 1カ所に多くの施設が集まることで、送迎による渋滞や交通事故などの安全面で懸念がある。
- ・ 現在の公民館は避難所としての利用も含めて活用方法を検討していただきたい。(B案共通)
- ・ 大塚西保育園の跡地を遊び場やオープンスペースとして利用するのはどうか。(C・D案共通)

【凡例】 ● 機能集合 ● 存続 ● 廃止・解体

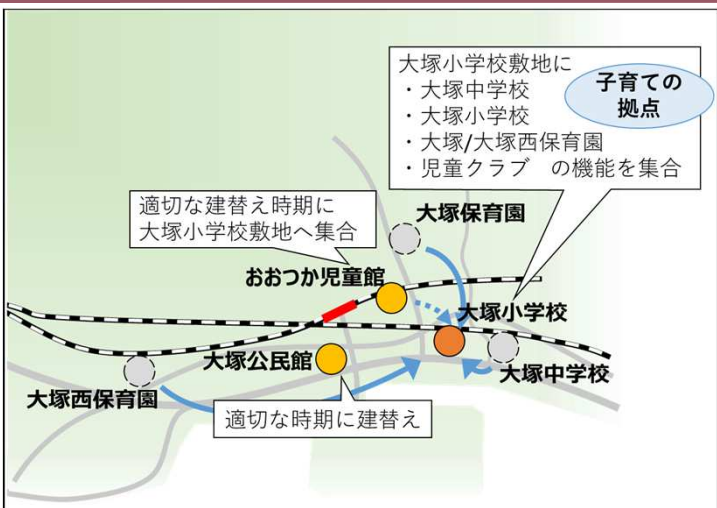
B 災害時の避難所を確保するプラン



- 保育園舎が古く不安なため、統合により新築または増築するのは安心できる。
- 大塚西保育園に機能を集合するだけでなく、避難所として活用できるような遊び場を整備できるとなるとよい。
- 大塚西運動広場を駐車場として利用したとしても、避難場所としては使用できると思うので防災面での心配はない。
- 小学校と中学校の立地は近いが、敷地が奥まっていることもあり意外と離れている。西側の小学校に集約するほうが、A案よりも幾分かアクセスが良い。(C・D案共通)
- 大塚西保育園の敷地では、保育園の駐車場、避難所としての十分な機能が確保できるのかが心配だ。
- 大塚西運動広場を保育園駐車場とすると園舎への移動が遠く大変だ。
- 大塚西保育園の自動車出入口は交差点に近く、渋滞も起きやすいので危険を感じる。
- ・ 大塚保育園は敷地も広く、高台にある。隣接する福祉施設との交流も期待できるので、保育園機能を大塚保育園に統合する案もあるのではないかと。

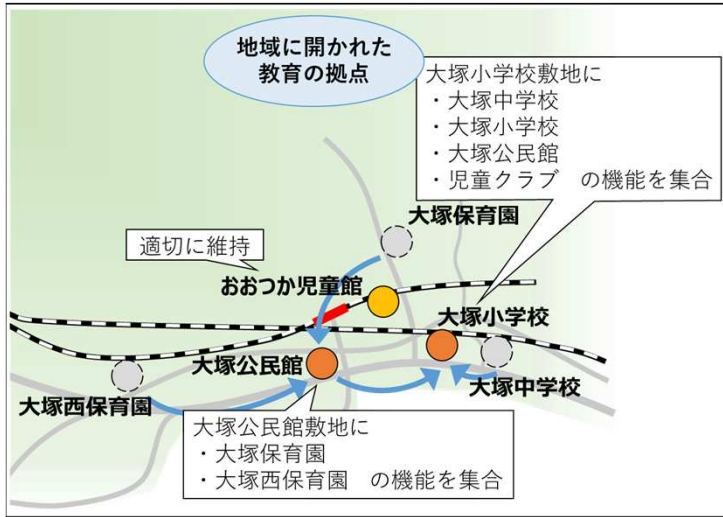
大塚西保育園は現状でも駐車場が不足しているため、2園の集合にあたり、敷地北側にある大塚西運動広場の活用を検討します。

C 子育ての拠点をつくるプラン



- 保育園、小中学校、児童クラブの子育て機能が集約されていて、子育て世代にとっては好ましい案だと思う。
- 小学校敷地に子育て機能が集合し、現地に公民館が残る点が良い。
- 公民館が独立することで多世代交流が生まれにくい。
- ・ 公民館の建替え時には、避難所としての活用を見据えた施設整備を検討してほしい。

D 子育てにおける利便性向上を図るプラン



大塚公民館敷地に2保育園が集合した場合、駐車場用地が不足する懸念があるため、敷地南側にある産子山児童遊び場の活用を検討します。

- 保育園が駅近くにあるのは、電車で通勤する方や車を利用しない方にとって送迎の利便性が高まり、共働き世帯も子育てしやすくなる。
- 保育園が駅近くに整備されるうえに、低年齢児保育が実施されると便利になる。
- 多くの機能が近接し、利便性が高い案だと思う。
- 小学校、公民館の敷地それぞれで建替えられることでハード面でも安心できる。
- 公民館の敷地で2つの保育園を集約すると敷地が狭いのではないかと心配だ。駐車場と園舎が離れるのも不便だ。また、車での通園がほとんどなので駅前にあるメリットは少ないと思う。
- 保育園と児童クラブが離れるのでお迎えの手間が増える。
- 現在の公民館敷地付近は高校生が自転車で道路右側を走行する危険があるので、保育園を移転するのは怖い。
- 災害時を考えると、大塚中学校は集約せず、そのままの敷地でもよいのではないかと心配だ。もともと小中学校は他の地区と比べて近くにあるため、交流の面でも問題ないと思う。
- 現在の公民館敷地に公民館機能と保育園機能を設置する、もしくは小学校と現地の両方に公民館機能を設置するのはいかがでしょうか。
- 産子山児童遊び場は現在の公民館敷地よりも高いところにあるので、保育園駐車場用地としては周辺私有地の活用を検討できないか。

全案に共通すること

【施設の集約について】

- 公民館と他施設の集約は世代間交流が期待でき、評価できる。
- 災害時には普段からのコミュニケーションが役に立つ。施設が集合することで様々な人が顔見知りになるのはよいことだ。
- 施設の集約により、小中学校の体育館などを地域で活用できる等のメリットに期待している。
- 施設を集約すると送迎時の渋滞や交通事故などが心配だ。分散してもよいのではないかと。
- 施設を集約することのデメリットも把握しておきたい。

【施設の立地について】

- 相楽町・東大塚・西大塚の3地域で考えると、現状の小中学校の立地はある程度バランスが取れていると思う。
- どの案も東寄りの配置になっているので、西側地区のことも考えて配置を検討してほしい。
- 保育園は車での送迎が多いので、どこにあってもそれほど不便はない。

【保育園について】

- 年少から年長まで一緒に活動する機会があるのは子ども達にとって貴重な体験だと思うので、無理に統合しなくてもよいのではないかと。
- 少人数保育のデメリットもあるため、ある程度の園児がいる保育園の方が子ども達の成長のためにはよいのでは。
- 保育園は園舎の老朽化もあり、公共施設マネジメントの点からも統合はやむを得ない。
- 特色ある保育園を残すという点では、地区内に民間保育園を呼び込んではどうか。

【防災、安全について】

- 通学路の安全性について不安な箇所がある。施設を集約する際には通学の安全を改善してほしい。
- 伊勢湾台風では現在の小中学校敷地は高潮で浸かってしまった記憶がある。できれば線路よりも北側に敷地を確保し、高い場所に集約するのがよい。
- 防災については、高台への避難、一次避難、二次避難と段階的に考えるのがよい。

【施設の運用について】

- 公民館は名称の変更や運用の工夫により、若い世代が来くなるような新しい施設にしてほしい。

【新たな案の提案】

- 小中学校をそれぞれ残すことで、災害時のスペース確保だけでなく、駐車場に余裕が生まれ、近隣住民への配慮・事故防止につながると思う。
- 公民館、児童クラブ、児童館を1つのユニットと考え、地域の人が過ごす場として整備するとよい。また、保育園を大塚保育園敷地に整備することでお迎えの距離も近くなると思う。
- 市営大塚住宅の土地を利用する。
- 地区の真ん中でもある三河大塚駅周辺に新たな土地が検討できないか。
- 集約する施設の敷地を売却すれば、新しい土地を確保する資金ができる。



評価の視点

次回以降それぞれの案をどういった観点で評価すべきか、評価の視点についてもご意見をいただきました。

①多様な人々との交流

・地域の行事で交流がしやすいプランになっているかという視点が必要だ。

②子育てしやすい環境づくり

・送迎の利便性を考慮したい。
・親目線だけではなく、子どもの目線で暮らしやすく、過ごしやすい場になっているかも考える必要がある。

③子ども達の居場所づくり

・子ども達の居場所に選択肢があるかも必要だ。
・中高生が勉強できる場が確保されているか。

④生涯現役でいられる地域づくり

・祭り等に利用しやすい配置になっているかが大事だ。
・高齢の方に役割を与えられる施設配置になっているか。

⑤安全・安心

・線路北側に緊急用の備蓄施設があるかという点も必要だ。
・交通渋滞が生じにくい配置になっているかどうかという視点。
保育園や小中学校を集合すると送迎の渋滞が発生する。

⑥利便性の確保

・くるりんバス等の自家用車以外のアクセス方法があるかどうかという視点。
・アクセスしやすさは、施設に配置される機能を楽しむことができるかにつながる。大塚地区全体で公平な施設配置になっているかを配慮してほしい。

⑦効率的な施設配置

・施設跡地が有効利用されているか。

皆さまのご意見をお聞かせください!!

オープンハウスのご案内

<録画配信> 公開中!!

公開期間：令和4年1月10日（月）まで

参加方法：右下に記載のQRコードより参加

<大塚公民館>

日時：令和4年1月7日（金）

午後4時から午後7時まで

- ワークショップでの検討内容などをパネル展示やYouTubeで職員が説明いたします。
- 随時ご説明します。ご都合のよい時間に会場へお越しください。
- 説明後、簡単なアンケートにお答えいただき、大塚地区の皆さまのご意見をお聞かせください。



過去の様子

録画配信はコチラから！
もしくは
市HP記事ID「0258525」で検索



ご意見募集

ワークショップに参加している方だけでなく、地区にお住まいのたくさんの方のご意見を踏まえて「地区個別計画」の策定に向けた検討を進めていきます。

- ワークショップで検討されている内容について
- 大塚地区のまちづくりや公共施設について

将来、大塚地区はどのような地域になってほしいですか？日々の生活で感じる些細なことで構いません。以下のお問い合わせ先まで、メール・ファクス・郵便・持参により、どうぞお気軽にお届けください。差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、連絡先の記載をお願いします。

ご意見をお待ちしています!!



次回ワークショップについて

日時：1月23日（日）

午後1時30分～午後4時30分

内容：再配置プラン案の評価

大塚中学校にて傍聴ができます。ご希望の方は、右のお問い合わせ先までご連絡ください。

（新型コロナウイルス感染症の状況により傍聴を中止する場合がありますのでご了承ください。）

お問い合わせ先

蒲郡市総務部公共施設マネジメント課

〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号

E-mail k-mane@city.gamagori.lg.jp

TEL 0533-66-1214 / FAX 0533-66-1183

詳しくはHPをご覧ください。

（右のQRコード、または市HP 記事ID「0205697」で検索）

